

3 そらたね祭り実行委員会 (京都市)

そらたね祭りとは、北大路大宮から北山大宮までの1キロメートルという、京都で一番長い新大宮商店街で開催しているイベントで、老若男女問わず、お祭りに訪れる参加者一人ひとりが、「主役」になって楽しめる参加型のお祭りです。平成21年で第7回を数えます。実行委員会が祭までの1か月間、商店街の空き店舗をお借りして、ミーティングや作業をしている「そらたねスペース」にお邪魔しました。

問. そらたね祭り実行委員会の設立から現在までの歩みについて説明していただけますか。

答. 平成14年、新大宮商店街の近くで小学生に太鼓を教えた「こども工房」と大学生のサークルが共同で、商店街にある唯明寺の前で太鼓のイベントを開催したのがきっかけです。翌年、唯明寺から境内とガレージをお借りして、大学生が中心となった「第1回そらたね祭」を開催しました。それから毎年開催するようになり、第4回からフリーマーケットが始まり、第5回からパレードを行うようになりました。毎回、大学生と社会人による有志が実行委員会を結成し、新大宮商店街の御協力をいただき、開催しています。代表は大学生が就任し、社会人がサポートしています。平成21年は、10月10日(土)、空を見る日&太鼓の日に開催します。10時10分スタートです。テーマは「笑顔あふれる商店街」、思わず立ち止まって笑顔になれるようなイベントにしたいと思います。

青空笑顔展、パレード、唯明寺ライブ、スタンブラリー「夢探しの冒険」、そらcafe、青空パフォーマンス、子どもコーナーなど、楽しい催しがいっぱいです。

問. 現在の活動を教えてください。

答. 平成21年の実行委員会の代表をしているTOMOです。去年までのイベントに参加していませんが、唯明寺で行われた花祭りに来て、まちの暖かさ、元気、笑顔にふれました。また、鴨川河川敷での集まりで、そらたね祭りのスタッフと知り合ったことで、そらたね祭りに関わりたいと考えようになりました。「青空笑顔展」という初めて行う企画があります。新潟出身で、日本全国を旅しながら、いろんな人の「笑顔やしあわせ」を集めている、笑顔写真家かつうゆういち君が企画のリーダーです。商店街を一軒一軒訪問し、お仕事の様子、笑顔の写真を撮影し、お寺や商店街で展示します。今日も朝からお店を回らせていただき、みなさんから親切に対応していただいています。これまでも、商店街の人には、商店街すぐろくやスタンブラリー、ワークショップなど幅広く参加していただいています。商店街全体に協力していただいて、暖かいお祭りを作りたいと思います。

問. これからの夢、ビジョンについて教えてください。

答. 「そらたねスペース」をもっと活用したいと思います。継続してコミュニティスペースとして確保し、将来的には、スタッフの中から商店街で自前の店をオープンする人がでてほしいと思っています。商店街の一員となった人が、新しく加わる若手と祭を作って行ければいいですね。来年の祭まで1年あります。今年の祭が終わっても、商店街の人と話し合い、この商店街の今後を一緒に考えていきたいと思っています。

問. 課題・悩みはありますか。

答. これまでは、当日が終わると、実行委員会が雲散霧消してしまい、翌年、一から立ち上げて行く形でした。今年は、終わってから、スタッフミーティングを月1回程度行ったり、商店街の人との飲み会も開催して、次につなげたいと思います。どここの団体でもそうだと思いますが、予算と人の悩みはあります。協賛金は、昨年からの不況で、きびしいものがありますが、がんばって集めています。商店街の方からの協賛金を増やすより、外で集めて、商店街で使う形にしたいと思っています。ただし、外で仕入れた方が安いこともありますので、バランスを取るのが難しいですね。

(今回の訪問を終えて)

毎年、学生が中心となり、商店街の方々と一緒に祭を創りあげてきましたが、平成21年は、これまでの成果を踏まえて、さらに地域に開かれたイベントにしようと思っていました。平成22年も開催されると思いますので、興味のある人はぜひ御参加ください。

団体名 そらたね祭り実行委員会
代表 TOMO
事業内容 学生や地域の若者が、商店街の人たちと一緒に祭りを開催。
所在地 〒603-8217 京都市北区紫野上門前町 そらたねスペース(期間限定)
ホームページアドレス <http://kyoto.cool.ne.jp/soratane/>



4 私塾一生一期一縁 (亀岡市)

私塾一生一期一縁は、亀岡市に拠点を置き、地域の中の若者が教育を担ってほしいと活動を始めたNPO塾です。今回は、かめおか市民活動推進センターのロビーにて、代表の福田さんに話を聴きました。

問. 私塾一生一期一縁の設立から現在までの歩みについて説明していただけますか。

答. 大学を卒業して、去年1年間は、亀岡で中学校の講師をやっていました。中学生と関わって、勉強に意欲がわかない、生活が退屈だという生徒が多かったこと、もっと地域に根ざした教育が必要だと考えるようになりました。出身は、三重県熊野市の過疎地域ですが、地元の若者は、みんな都会に出ていき、田舎に帰ってくる手段がありません。地域に根ざした教育を作り上げることで、子ども達が大人になって活躍できる場ができると思います。平成21年の4月に、私塾「一生一期一縁」を立ち上げました。「人と人とのつながり」を学ぶ場として、「地域」が創る教育を築き上げていきたいのです。

問. 現在の活動を教えてください。

答. 私塾「一生一期一縁」は、まだ活動を始めようとしているところです。

問. 地域の20代の若者が中心となって活動し、地域の大人から支援を受けて運営していこうと考えています。「地域」主体の塾ですから、家庭状況に関わらず、中学生、高校生であれば、誰でも勉強会に参加できるようにします。塾の参加費はいただく、地域の方からの寄付金や年会費で運営したいですね。まず、毎週水曜日に勉強会を開催します。「何のために勉強するのか」を共に探しながら学業を充実させます。塾生を募集中のところで、10月14日から勉強会を始める予定です。

次に、季節に応じた交流会や大道芸の練習会をします。中高生の中にはエネルギーを放出する場があまりない生徒も多いと思うので、自分を表現する手段として大道芸を修得し、地域の中で活躍できる場を創り出すことができれば、中高生のエネルギーをうまく活かすことができると思います。

最後に、殻を破って成長するために、中高生の長期休暇を利用して旅へ出かけます。旅は最高の刺激となり、親子それぞれの自立を促してくれます。

問. これからの夢、ビジョンについて教えてください。

答. 私塾「一生一期一縁」は地域で創る塾を目指します。塾生の参加費はいただく、地域の大人から寄付及び年会費を受け付けます。子どもがいる家もない家も、みんなで協力して塾を創れたら、何より素晴らしい教育の場になります。一期一会という言葉がありますが、出会って終わるだけ、それっきり何も生まれえないということが多くないように思います。生涯につながる縁が生まれるように願いを込めて、一生一期一縁と命名しました。活動実績をもっと積んで、地域の大人の方々にアピールして、活動に賛同していただきたい。みんなが協力して地域の教育を考えられるようにして、最終的にきちんと塾が運営できるようにしたいと思っています。

問. 課題・悩みはありますか。

答. NPOで収益を上げていくには、どうしたらいいかを考えています。社会活動が生計を立てるための仕事になれば、もっと地域に貢献できるようになります。また、地域の若者をどう巻き込むかが課題です。同世代の若者は、会社に就職したところで仕事やプライベートが忙しいようですが、地域社会の大切さや困っている人を助ける優しさに気付いてもらえたらと思います。

(今回の訪問を終えて)

まだ活動を始めたばかりの私塾ですが、地域と一体となって子ども達の教育を作って行けるようになればいいですね。若者スタッフがたくさん参加してくれるように、ゆめと京都としても応援したいと思います。

福田くんは、亀岡市の篠八幡宮の近くにオープンしたプレイパークのリーダーもやっています。これからの活躍を期待しています。

団体名 私塾一生一期一縁
代表 福田 幸志郎
事業内容 地域の中での教育と若者を応援するNPO塾。
学校や家庭ではできない教育、大人から子どもへは伝わりにくい教育、地域の中の若者が創る塾が担う。
ホームページアドレス <http://www015.upp.so-net.ne.jp/ko1show1go1yen/>